



## 平成21年10月期 第2四半期決算短信

平成21年6月10日

上場会社名 株式会社 トップカルチャー

コード番号 7640 URL <http://www.topculture.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清水 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼総務部長

(氏名) 宮原 務

四半期報告書提出予定日 平成21年6月12日

TEL 025-232-0008

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年10月期第2四半期の連結業績(平成20年11月1日～平成21年4月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年10月期第2四半期	15,341	—	438	—	483	—	259	—
20年10月期第2四半期	15,255	3.1	373	△44.7	401	△43.1	234	△37.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年10月期第2四半期	21.62	21.54
20年10月期第2四半期	18.82	18.77

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年10月期第2四半期	16,863	7,070	41.6	584.70
20年10月期	17,015	6,983	40.8	577.95

(参考) 自己資本 21年10月期第2四半期 7,014百万円 20年10月期 6,933百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年10月期	—	—	—	15.00	15.00
21年10月期	—	—	—	—	—
21年10月期 (予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年10月期の連結業績予想(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,301	2.6	778	41.5	820	34.8	410	18.7	34.18

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名) ) 除外 一社 (社名) )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年10月期第2四半期	12,688,000株	20年10月期	12,688,000株
② 期末自己株式数	21年10月期第2四半期	690,765株	20年10月期	690,765株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年10月期第2四半期	11,997,235株	20年10月期第2四半期	12,469,884株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年12月10日発表の業績予想は、修正しておりません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

当年度は四半期報告制度の導入初年度であるため、「1. 連結経営成績に関する定性的情報」における前年同期比較分析には、前年同期の参考値を用いています。

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におきましては、かつてない景気後退局面を向かえ企業の経営環境は非常に厳しい状況となりました。個人消費につきましては、消費者の生活防衛意識の高まりから儉約志向がさらに強まり個人消費の低迷が続く一方、家の中で過ごすライフスタイルやこだわり消費が拡がるといった傾向も見られております。このような状況の中、当社グループは「日常的エンターテイメントの提供」というコンセプトの下、書籍、映画、音楽、文具、雑貨といった人々の心を豊かにするエンターテイメントコンテンツを低価格で手軽にご利用いただける地域社会の文化拠点として、ライフスタイルを提案する売場作りに注力してまいりました。

また、今期よりエリアマネージャー制度を導入し、店舗運営力の向上、在庫の適正化と効率運用、現場（店舗）の声のすばやいフィードバックと経営への反映等様々な課題に取り組み、顧客満足度の最大化を図っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、当初計画どおり順調に進捗し、売上高15,341百万円（前年同期比100.6%）、経常利益483百万円（同120.5%）、四半期純利益259百万円（同110.5%）と增收増益となりました。

#### 売上・利益の増減要因

売上面につきましては、当社グループの主軸である蔦屋書店部門において売上高前年同期比が100.6%（既存店96.6%）となったことが增收の主な要因となりました。商品別でみると、主要商品のうち書籍が売上高前年同期比103.8%（既存店100.4%）、レンタルが売上高前年同期比105.3%（既存店99.8%）と業績に寄与いたしました。書籍は商品提案力の向上および売上上位商品の充足率強化への取り組みが奏功いたしました。レンタルは既存顧客のリピート率向上に取り組み堅調に推移いたしました。また、販売用CD・DVDにつきましては市場動向を鑑み、当初より売上計画を固く見積もってまいりましたが、販売用CDは売上高前年同期比85.9%（既存店82.7%）、販売用DVDは売上高前年同期比91.6%（既存店88.5%）と想定を若干下回る売上推移となりました。

利益面につきましては、今期の重点課題として取り組んでいるレンタルの粗利率改善および在庫の効率化への取り組みが奏功し、売上総利益率は前年同期比2.0%増加し31.3%となりました。その結果、経常利益は483百万円と前年同期比20.5%増益となりました。

事業の部門別セグメントの業績は、次のとおりであります。

(小売事業)

蔦屋書店部門

当部門につきましては、既存店の売上高前年同期比が96.6%となったことおよび店舗数の増加により、売上高は14,779百万円（前年同期比100.6%）となりました。

古本市場トップブックス部門

当部門につきましては、ゲーム新商品のタイトルパワーの不足、ビッグタイトルの発売延期等によりゲームの新品売上が伸び悩みました。その一方で、ゲーム既存品の需要が高まったことからゲームの中古品売上が増加傾向となっております。これにより、売上高は492百万円（前年同期比98.3%）となりました。

(スポーツ関連事業)

グラントセナフットボールクラブ部門

当部門につきましては、第1四半期連結会計期間に引き続きサッカークラブおよびサッカースクールの会員数が堅調に増加したことにより、売上高は69百万円（前年同期比103.7%）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産につきましては、前連結会計年度末比152百万円減少し、16,863百万円となりました。これは主に、在庫の効率化によりたな卸資産が457百万円減少したものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比239百万円減少し、9,792百万円となりました。これは主に、上記のとおり在庫の効率化を図ったことにより買掛金が156百万円減少したことによるものであり、さらには設備未払金の減少により流動負債が減少しております。

純資産につきましては、前連結会計年度比87百万円増加し、7,070百万円となりました。これは主に、利益剰余金が79百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は41.6%となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は291百万円となりました。これは主に、在庫の効率化に取り組んだ結果、たな卸資産が457百万円減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は153百万円となりました。これは主に、敷金・保証金の返還による収入が支出を95百万円上回った一方、既存店の増床に伴う有形固定資産の取得等による支出が243百万円発生したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は247百万円となりました。これは、長期借入金の借入により825百万円の資金の増加があった一方で長期借入金の返済による支出が895百万円、配当金の支払が177百万円発生したことによるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、計画通り順調に推移しており平成20年12月10日に公表した通期の業績予想に変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 5 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年4月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,122,781	1,231,439
売掛金	212,053	204,783
商品	6,723,419	7,180,420
貯蔵品	71	101
前払費用	256,189	230,937
繰延税金資産	67,656	59,383
未収入金	278,477	315,925
貸倒引当金	△217	△217
流動資産合計	8,660,431	9,222,773
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,376,287	2,317,125
その他	683,473	765,906
有形固定資産合計	3,059,760	3,083,032
無形固定資産		
のれん	37,262	36,615
その他	52,692	53,630
無形固定資産合計	89,955	90,246
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,908,269	3,987,823
繰延税金資産	54,296	55,210
その他	1,091,876	577,658
貸倒引当金	△1,420	△1,420
投資その他の資産合計	5,053,022	4,619,272
固定資産合計	8,202,738	7,792,550
資産合計	16,863,169	17,015,324

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末  
(平成21年4月30日)

前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成20年10月31日)

負債の部		
流動負債		
買掛金	2,790,361	2,947,250
1年内返済予定の長期借入金	1,668,126	1,649,830
未払金	336,722	326,226
未払法人税等	250,433	120,124
賞与引当金	62,000	62,600
その他	156,060	310,071
流動負債合計	5,263,703	5,416,103
固定負債		
長期借入金	4,125,570	4,213,890
長期未払金	49,076	55,057
長期預り敷金保証金	171,312	162,487
退職給付引当金	110,231	111,546
役員退職慰労引当金	72,476	72,476
固定負債合計	4,528,666	4,615,457
負債合計	9,792,370	10,031,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,007,370	2,007,370
資本剰余金	2,303,691	2,303,691
利益剰余金	3,007,419	2,927,673
自己株式	△309,060	△309,060
株主資本合計	7,009,421	6,929,674
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,393	4,073
評価・換算差額等合計	5,393	4,073
新株予約権	32,669	28,117
少数株主持分	23,315	21,898
純資産合計	7,070,799	6,983,762
負債純資産合計	16,863,169	17,015,324

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成20年11月1日  
至 平成21年4月30日)

売上高	15,341,542
売上原価	10,532,948
売上総利益	4,808,594
販売費及び一般管理費	4,370,328
営業利益	438,265
営業外収益	
受取利息	16,604
受取賃貸料	29,799
その他	38,799
営業外収益合計	85,203
営業外費用	
支払利息	39,471
営業外費用合計	39,471
経常利益	483,997
特別損失	
減損損失	1,668
特別損失合計	1,668
税金等調整前四半期純利益	482,328
法人税、住民税及び事業税	229,786
法人税等調整額	△8,254
法人税等合計	221,532
少数株主利益	1,417
四半期純利益	259,378

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年11月 1 日 至 平成21年 4月 30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	482, 328
減価償却費	152, 251
減損損失	1, 668
のれん償却額	4, 035
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0
賞与引当金の増減額（△は減少）	△600
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△1, 315
受取利息及び受取配当金	△16, 840
支払利息	39, 471
売上債権の増減額（△は増加）	△7, 270
たな卸資産の増減額（△は増加）	457, 030
仕入債務の増減額（△は減少）	△156, 889
未払消費税等の増減額（△は減少）	427
長期前払費用の増減額（△は増加）	△507, 402
その他	△25, 160
<b>小計</b>	<b>421, 735</b>
利息及び配当金の受取額	547
利息の支払額	△38, 003
法人税等の支払額	△92, 372
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>291, 907</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△243, 863
無形固定資産の取得による支出	△5, 130
投資有価証券の取得による支出	△209
敷金及び保証金の回収による収入	145, 847
敷金及び保証金の差入による支出	△50, 000
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△153, 356</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入れによる収入	825, 000
長期借入金の返済による支出	△895, 024
配当金の支払額	△177, 184
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△247, 208</b>
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△108, 657
現金及び現金同等物の期首残高	1, 221, 439
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>1, 112, 781</b>

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 繼続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結会計期間（自 平成21年2月1日 至 平成21年4月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日）

全セグメントの売上高の合計および営業利益の合計額に占める「小売事業」の割合が、いずれも90%を超えていたため、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日）

本邦以外の国または地域に所在する在外連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日）

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前年同中間期連結損益計算書

		前中間連結会計期間 (自 平成19年11月 1 日 至 平成20年 4 月 30 日)	
区分		金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高		15,255,880	100.0
II 売上原価		10,785,873	70.7
売上総利益		4,470,006	29.3
III 販売費及び一般管理費		4,096,415	26.9
営業利益		373,591	2.4
IV 営業外収益			
1 受取利息	18,873		
2 受取配当金	233		
3 家賃収入	26,204		
4 手数料収入	6,173		
5 販売奨励金	8,280		
6 雑収入	12,760	72,526	0.5
V 営業外費用			
1 支払利息	44,518	44,518	0.3
経常利益		401,599	2.6
VI 特別損失			
税金等調整前中間 (当期)純利益		—	—
法人税、住民税及び 事業税		401,599	2.6
法人税等調整額	183,861		
少数株主利益 (△は損失)	7,493	191,355	1.3
中間(当期)純利益		△24,414	0.2
		234,658	1.5

## 6. その他の情報

## 商品別売上状況

区分		当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年4月30日)	
		売上高 (千円)	構成比 (%)
小売事業	蔦屋書店部門	書籍	6,099,100
		レンタル	3,212,767
		販売用CD	1,769,368
		文具	1,386,466
		販売用DVD	1,076,955
		ゲーム	520,134
		リサイクル	106,440
		その他	607,908
	小計	14,779,141	96.3
スポーツ関連事業	古本市場トップブックス部門	492,620	3.2
	グランセナフットボールクラブ部門	69,780	0.5
合計		15,341,542	100.0